

帝國議會 貴族院議事速記錄第二十八號 第四十五回

〔小林書記官朗讀〕

一昨十八日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

貨幣法中改正法律案特別委員會

委員長 子爵渡邊 千冬君

副委員長 阪本 鈴之助君

簡易生命保險法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵勸修寺 經雄君

副委員長子爵西大路 吉光君

健康保險法案特別委員會

委員長 子爵片桐 貞央君

副委員長 江木 翼君

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

内地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ト南洋群島トノ間ニ於ケル船舶及貨物ノ出入ニ關スル法律案

第一讀會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

マス、日程第一、内地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ト南洋群島トノ間ニ於ケル船舶及貨物ノ出入ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔左ノ通牒文ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

内地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ト南洋群島トノ間ニ於ケル船舶及貨物ノ出入

ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第六十四條ニ依リ及送付候也

大正十一年三月十八日

衆議院議長 奥 繁三郎

○議長(公爵德川家達君) 日程第一、裁判所構成法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

裁判所構成法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十一年三月十八日

衆議院議長 奥 繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

裁判所構成法中改正法律案

裁判所構成法中左ノ通改正ス

第十四條ノ二 區裁判所ハ破産事件ニ付裁判權ヲ有ス

第十六條中「第二ニ記載シタル罪ハ」ヲ削リ第二號ヲ左ノ如ク改ム

第二 短期一年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ該ル罪ヲ除ク外有期ノ懲役若ハ禁錮又ハ罰金ニ該ル罪

第三十七條第二號ヲ左ノ如ク改ム

(ロ) 大審院ノ權限ニ屬スルモノヲ除ク外區裁判所ノ決定及命令ニ對シタル決定及命令ニ對スル法律ニ定メタル抗告

第五十條第一號ヲ左ノ如ク改ム

第一 終審トシテ

第二十八條 削除

第三十七條第二號ヲ左ノ如ク改ム

第二 大審院ノ權限ニ屬スルモノヲ除ク外地方裁判所ノ第一審トシテ爲ニ對シテハ、ソレゾレ頓稅又ハ關稅ヲ課セラレテ居ルノデアリマス、然ニ南洋廳ノ設置ニ伴ヒ、是等ノ牆壁ヲ撤廢イタシマシテ、船舶及ビ貨物ノ出入ヲ自由ナラシムルノ必要ヲ認メマシテ、本案ヲ提出シタ次第デアリマス、何卒御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言モナイト存ジマスカラ、本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致セセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

内地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ト南洋群島トノ間ニ於ケル船舶及貨物ノ出入

(ロ) 地方裁判所ニ第二審トシテ爲シタル決定及命令並ニ控訴院ノ決

定及命令ニ對スル法律ニ定メタル抗告

(ハ) 地方裁判所又ハ區裁判所ノ爲シタル上告棄却ノ決定ニ對スル抗

ニ關スル法律案特別委員

子爵土方 雄志君 子爵松平 直平君 男爵目賀田種太郎君

男爵安場 末喜君 男爵周布 兼道君 鍋島 桂次郎君

鎌田 勝太郎君 橋本 辰二郎君 田中 清文君

告

第五十六條第一項ノ末尾ニ左ノ如ク加フ

司法官試補タル資格ヲ有シ朝鮮總督府判事又ハ朝鮮總督府檢事タル者亦同シ

第七十一條ノ二中「司法省參事官」ノ下ニ「朝鮮總督府判事朝鮮總督府檢事臺灣總督府法院判官臺灣總督府法院檢察官關東廳法院判官又ハ關東廳法院檢察官」ヲ加フ

附則

本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條ノ二及第二十八條ノ改正規定施行前從前ノ管轄裁判所ニ於テ受理シタル事件ハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ完結ス

〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山内確三郎君) 裁判所構成法中改正法律案ノ提案ノ理由ヲ申上
グマス、破産法ノ改正ト、ソレカラ刑事訴訟法ノ改正ニ伴ヒマシテ、裁判所構成法中改正シナケレバナラヌ點ガアル、即チ破産法ニ依リマシテ、破産事件ハ從來地方裁判所ノ管轄ニ屬シテ居リマシタモノヲ、之ヲ區裁判所ノ管轄ニ屬セシムルト云フ前提ノ下ニ破産法草案ハ出來テ居ルノデアリマス、而シテ此ノ事物ノ管轄ハ裁判所構成法中ニ規定ガアリマスカラ、其點ニ付テ改正ヲ致サナケレバナラヌノガ一ツ、ソレカラ刑事訴訟法ノ改正ニ伴ヒマスルト、地方裁判所又ハ區裁判所ノ第一審判決ニ對シテ、控訴ヲ爲サヌシテ直チニ上告ヲ認メルト云フ規定ガアルノデ、其爲ニ上告ノ點ニ付テ構成法ヲ改正ヲ致サナケレバナラヌ、又豫審、此豫審ハ從來重罪ハ必ず豫審ニ付スルト云フコトニナツテ居リマシタガ、即チ一年以上ノ禁錮又ハ懲役ニ處スル刑、此事件ニ付テハ必ず豫審ヲ經ルコトニナツテ居リマスノヲ、改正刑事訴訟法案デハ必シモ之ヲ豫審ニ付スルノ必要ガナイ、豫審ニ付スルヤ否ヤハ檢事ノ見込ニ依ルト云フコトニナル、サウ云フ次第アリマスカラ、豫審ヲ經ザル重罪事件ニ付テ地方裁判所ガ管轄ヲ定メナケレバナラヌ、ソレカラ區裁判所ナリ、或ハ地方裁判所ノ判決ニ對シテ直チニ上告ヲスル場合ニ、其區裁判所又ハ地方裁判所ハ、決定ヲ以テ不適法ナル上告ヲ棄却スルト云フ此規定ガ出來タノデ、此決定ニ對シテモ直チニ大審院ニ抗告ヲスルト云フ規定ヲ設ケテ居ルノデ、其結果地方裁判所、區裁判所ノ決定ニ對スル、大審院ニ抗告ノ管轄權ノコトヲ

定メナケレバナラヌ、其他二三ノ點ガアリマスガ、皆刑事訴訟法ノ改正ニ伴フ

ノデアリマス、ソレカラ更ニ朝鮮、臺灣、關東州ニ於ケル裁判官檢察官ト、内地ニ於ケル判事檢事トノ資格ニ付テ共通ヲスルコトガ必要デアルト云フコトガ、多年ノ懸案デアッタノデ、今回此點ニ付マシテ更ニ二箇條ヲ設ケマシ

テ、所謂司法官ノ資格共通ノ規定ヲ定メルコトニ相成ツタノデ、要スルニ此三ツノ點カラ裁判所構成法中改正ヲ要スルモノガアルノデ、何卒慎重御審議ノ上ニ御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ハ、御異議ガナケレバ刑事訴訟法案外二件ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第三、明治三十五年法律第四十九號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會……諸君ニ於テ御異議ガナケレバ次

ノ第四モ一括シテ説明ヲ煩ハスコトニ致シマス、日程第四、統計資料實地調查ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

明治三十五年法律第四十九號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正十一年三月十八日

衆議院議長 奥 繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

明治三十五年法律第四十九號中改正法律案

明治三十五年法律第四十九號中左ノ通改正ス

第一條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ規定ニ依ル調査後五年ニ該ル年ニ於テ簡易ナル國勢調査ヲ施行ス
參照

國勢調査ニ關スル法律(明治三十五年法律第四十九號中十三款改正)

第一條 國勢調査ハ各々十箇年毎ニ一回帝國版圖内ニ施行ス

第二條 國勢調査ノ範圍、方法及經費ノ國庫ト地方分擔トノ割合其ノ他
必要ノ事項ハ別ニ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 第一回國勢調査ヲ行フヘキ時期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

統計資料實地調查ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十一年三月十八日

衆議院議長 奥 繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

統計資料實地調査ニ關スル法律案

第一條 政府ハ労働ニ關スル統計資料蒐集ノ爲必要アルトキハ特ニ期日ヲ

定メ全國ニ涉リ又ハ一定ノ區域ヲ劃シテ實地調査ヲ行フ

前項ノ實地調査ノ期日、範圍、方法其ノ他必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 實地調査ニ依リテ蒐集シタル個々ノ資料ハ統計上ノ目的以外ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第三條 實地調査ニ關スル事務ニ從事シタル者其ノ職務執行ニ關シ知得タル個人、法人、組合又ハ其ノ業務ニ關スル事項ヲ故ナク他ニ漏洩シタルトキハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四條 實地調査ニ際シ調査ヲ忌避シ、申告ヲ拒ミ又ハ故意ニ不實ノ申告ヲ爲シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第五條 虛偽ノ風説ヲ流布シ又ハ偽計若ハ威力ヲ用キテ實地調査ヲ妨ケタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

〔政府委員小川平吉君演壇ニ登ル〕

○政府委員(小川平吉君) 明治三十五年法律第四十九號中改正法律案デゴザイマス、此明治三十五年法律第四十九號ハ國勢調査ニ關スル法律デゴザイマシテ、此四十九號ノ法律ニ依テ國勢調査ハ御承知ノ通り十年ニ一回之ヲ施行スルコトニナツテ居リマスル、然ニ近時人口移動ノ頻繁ナルニ鑑ミマシテ、此シテ、一々法案ヲ御提出ニナルノデアリマスカ、例へバ農商務省ニ於テ御計畫ニナツテ居ル、嘗テ農商務大臣ガ此席ニ於テ申サレマシタル米麥ノ調査ノ如キ、概算二百萬圓モ掛ル、此米麥ノ如キ調査ヲシャウト言フ場合ニハ、又斯ノ如キ案ヲ出サレテ協賛ヲ求メラレルノデアリマスカ、之ヲ伺ヒタイノデアタ次第デゴザイマス、次ノ統計資料實地調査ニ關スル法律案、是ハ労働狀態ニ付テ正確ナル調査ヲ爲スコトノ必要ヲ感ジマシテ、労働ニ關スル統計資料ノ蒐集ヲ致シタイト云フノデ、既ニ御承知ノ通り御協賛ヲ經テ國勢院ニ勞働統計課ト云フモノガ設ケラレテ居リマス、此労働ニ關スル統計資料蒐集ノ爲

メ實地ノ調査ヲ施行スルニ付マシテ、必要ナル規定ヲ作ル爲ニ、本法律案ヲ提出イタシマシタ次第デゴザイマス、ドウゾ御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵柳澤保惠君) 通告ニ依リマシテ發言ヲ許シマス、柳澤伯爵

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 唯今國勢院總裁ヨリ二案ニ付テ極メテ簡單ナル、不明瞭ナル御説明ガゴザイマシタニ付マシテ、少シク質問イタシタイト考ヘマス、第一ニ付マシテハ十年一回ノ國勢調査ノ原則ニ對シテ、例外ト致シマシテ五年ニ簡單ナル人口調査ヲスル、例外トハ申シナガラ、一面カラ言ヒマスレバ、是ハ五年ニ國勢調査ヲスルコトニナツタノデアリマス、洵ニ結構ナコトデアリマス、併ナガラ唯簡單ナル人口調査デハ不明デアリマスカラ、少シク伺ヒタイト思ヒマス、簡單ナル人口調査ト申スノハ、方法ノ簡單ナノデアリマスカ、調査項目ノ簡單ナノデアリマスカ、之ヲ第一ニ伺ヒタイ、中央統計委員會ニ於キマシテハ此案ノ諮詢ヲ受ケマシタ、之ニ對シテ答申ガ出マシタノデ、多分此法案ヲ御出シニナツタコトト考ヘマス、其時ハ政府ニ於テハ簡單ナル事項ト申シテ、氏名所帶ニ於ケル地位、男女ノ別、ソレカラ年齢、是ダケノコトヲ先ヅシャウト云フコトデアリマシタガ、果シテソレダケノ範圍デアリマスカ、之ヲ伺ヒタイ、ソレカラ方法ハ國勢調査ノ場合ト同ジ方法デアリマスカ、之ヲ伺ヒタイ、ソレカラ概算ノ費用ハ幾ラデアリマスカ、何年間ノ繼續デアリマスカ、所管ハ何レデアリマスカ、之ヲ伺ヒタイ、第二案ニ移リマシテ、労働統計ニ關スル材料ヲ捉ヘル……此案ハ單ニ労働統計ノ爲ノ材料ヲ蒐集スルノ法案デアリマス、果シテ然ラバマダ他ノ重要ナル統計調査ヲ爲サレル場合ニ於キマシテ、國勢調査以外ニ他ノ統計調査ヲ爲サレル場合ニ於キマシテ、一々法案ヲ御提出ニナルノデアリマスカ、例へバ農商務省ニ於テ御計畫ニナツテ居ル、嘗テ農商務大臣ガ此席ニ於テ申サレマシタル米麥ノ調査ノ如キ、概算二百萬圓モ掛ル、此米麥ノ如キ調査ヲシャウト言フ場合ニハ、又斯ノ如キ案ヲ出サレテ協賛ヲ求メラレルノデアリマスカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ此労働統計材料蒐集ノ方案ハ、中央統計委員會ニ御諮詢ニナツテ居ラヌノデアリマス、何故ニ是ガ御諮詢ニナラヌノデアリマスカ、ソレカラ此費用、調査ノ範圍、方法並ニ何時御執行ニナル、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス

〔政府委員小川平吉君演壇ニ登ル〕

○政府委員(小川平吉君) 御答致シマス、此第一ノ方ノ人口ノ調査、此調査ノ方法ハ、大體ニ於テ一昨年施行致シマシタル國勢調査ト略ホ同様デアリマス、其調査ノ範圍ハ即チ一昨年ノ分ニ比ベマスト餘程簡単デゴザイマシテ、人口ノ總數、男女ノ別、年齢配偶、現住所並ニ本籍、是ダケノ者ヲ調査ヲ致シマス、次ノ統計資料蒐集ニ關スル法律案ニ付テノ御質問ニ御答イタシマス、實ハ唯今御質問ノ通り、本案ハ勞働統計ニ關スルモノノミデゴザイマスルガ、國勢院當局ト致シマシテハ、他ノ產業ノ調査其他ニ付マシテモ、一般ニ此「センサス」ノヤウナ方法ヲ以テ調査スル、調査ニ付マシテハ、今回勞働統計ニ關スル法律ト同時ニ法律ヲ制定シタイト云フ考ヲ持ツテ居リマシタノデ然ニ勞働統計ニ付テハ先刻モ申上ゲマス通リ、既ニ先般ノ議會ノ協賛ヲ經テ、勞働統計課ト云フモノガ設置ニナツテ居リマス、之ニ要スル費用モ不十分ナガラ協賛ヲ經テアルノデ、然ニ他ノ產業其他ノ調査、一般的ノ調査ニ付マシテハ此費用ノ用意モゴザイマセヌ、又今日直ニ實行スルト云フコトモ決定致シテ居リマセヌノデ、國勢院ニ於キマシテハ、同時ニ制定シヤウト云フコトヲ攻究致シマシタノデ、關係各廳ノ同意ヲ經ルニ至ラズシテ、遂ニ今日既ニ實行ノ決定ニナツテ居リマス所ノ勞働統計ニ關スル分ダケヲ法律ヲ作ルコトニ決定致シタ次第アリマス、從テ御質問ノ如ク產業其他ニ付テ、一般ニ「センサス」ヲ行フ如キ調査ヲ爲ス場合ニ於テハ、更ニ法律案ヲ提出シテ御協賛ヲ仰グト云フ考デゴザイマス、第三ノ勞働統計ノ問題デアリマス、此勞働ニ關スル統計調査ヲ致スコトハ先年來ノ宿題デアリマシテ、中央統計委員会設置以前ニ於テ、既ニ以前ヨリ是ヲ設ケルノ考ヲ致シテ居リマシタ、多年ノ懸案ガ即チ一昨年ノ暮ノ議會デゴザイマスルカ通過致シタ次第デ、從テ中央統計委員會ニ諮詢ヲ致サナカツタ次第アリマス

○伯爵柳澤保惠君 私ハ少シク項ヲ分チテ伺ッタノデアリマスルガ、御答ガアリマセヌカラ、モウ一遍繰返シテ申上ゲマス、第一案ニ於テ伺ッタノハ四ツ程アリマシタガ、費用ノ概算ヲ伺ッタ、之ニ御答ガアリマセヌ、ソレカラ事務管掌ハ何處デスルカト云フコトヲ申上ゲタ、是ガゴザイマセヌ、ソレカラ第二ノ方ハ……第一ノ方デ今ノ返事ニ依リマスルト簡易ナル國勢調査ハ能ク分リマシタ、誠ニ項目モ、割合ニ適當ナコトト考ヘテ居リマス、本員最モ満足ニ存ジマス、ソレカラ費用ノ概算ト役所ガ……勿論是ハ國勢院ト考ヘテ居リマ

スケレドモ、現ニ臨時國勢調査局ガ出來マシテ第一回ノ國勢調査ヲ行フタノデアリマスカラ、或ハ此簡易ナル國勢調査ヲ施行ノ場合ニ於テモ、何カ臨時ノ役所ガ出來ヤセヌカト考ヘマスカラ伺ッタノデアリマス、第二ノ方デ御答ノナイノハ矢張費用ノコトト如何ナル方法デ何時御實行ニナルカ、是ガ御説明ガナカツアリ

〔政府委員小川平吉君演壇ニ登ル〕

○政府委員(小川平吉君) 先刻御質問ノ中ノ一箇條ヲ忘却イタシマシテ甚ダ失禮イタシマシタ、此簡易ナル人口調査ノ費用ハ二十五萬圓三箇年繼續支出ノ見込デアリマス、ソレカラ其ノ事務ハ矢張國勢院ニ於テ、今日臨時國勢調查局ニ引繼イデヤツテ居リマスルカラ國勢院ニ於テ此簡易ナル人口調査ノ事務ヲ管掌スル考デゴザイマス、ソレカラ勞働統計ニ關スル調査ノ費用デゴザイマス、是ハ勞働統計課ヲ新設スル費用トシテ帝國議會ニ於テ六萬餘圓ト心得テ居リマシタガ、多少數字ノ相違ガアルカモ知レマセヌ、大體ニ於テ其位ノ費用デアリマス、ソレダケノ費用ヲ得テ居リマスルノデ、實ハ此調査ハ工場鑛山、鐵道、船舶等ニ於ケル總テノ勞働者ニ對シテ、調査ノ實行ヲ致シタイト考ヘテ居ッタノデアリマスルガ、財政ノ都合上所期ノ目的ヲ達スル譯ニ參リマセヌノデ、金高ノ少額デアリマスガ爲ニ已ムヲ得ズ、先づ以テ工場鑛山ノ勞働者ノ調査ヲ致シ、續イテ交通及ビ耕作勞働者マデニモ及ボシタイト云フ希望ヲ有ッテ居リマスルガ、是ハ即チ主トシテ財政ノ狀態ト相俟ッテ財政上ノ事情カ許シマスルナラバ、即チ總テノ勞働者ノ狀態ヲ悉ク期日ヲ定メテ一時ニ調査ヲ致シタイト云フ考デ、ソレマデハ已ムヲ得マセヌカラ、財政ノ許ス範圍ニ於テ最モ急務トスル所ノモノヲ實行スルト云フ考デゴザイマスク詳細ノコトヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、是ハ他ノ機會ニ於テ伺ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 他ニ御質疑ガナイト認メマスカラ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

明治三十五年法律第四十九號中改正法律案外一件

特別委員

伯爵柳澤 保惠君 子爵本多 忠鋒君 男爵西村 精一君

男爵斯波 忠三郎君 男爵坪井 九八郎君 原 保太郎君
和田 豊治君 高倉 虎君 土田 萬助君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第五、大正九年法律第五十二號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

大正九年法律第五十二號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十一年三月十八日

衆議院議長 奥 繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

大正九年法律第五十二號中改正法律案

大正九年法律第五十二號中左ノ通改正ス

第一條及第四條中「朝鮮又ハ臺灣」ヲ「朝鮮、臺灣又ハ南洋群島」ニ改ム

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
參照

大正九年法律第五十二號

(朝鮮又ハ臺灣ヨリ移出シタル物品ノ内地又ハ樺太ニ於ケル取締ニ關スル法律)

〔政府委員松本重威君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松本重威君) 大正九年法律第五十二號中改正法律案ノ説明ヲ申上ゲマス、此度我ガ帝國ノ委任統治ニ歸シマシタ南洋群島ト、内地、朝鮮、臺灣、樺太トノ間ニ於ケル所ノ關稅ヲ撤廢シマスコトノ法律案ガ提出ニナツテ居リマス、此法律案ガ制定セラレマスト同時ニ、別ニ勅令ヲ以テ南洋群島ヨリ内地其ノ他ノ方面ニ輸出セラルベキ貨物ニシテ、内地其他ノ方面ニ於テ消費稅ヲ課スベキモノニ對シマシテ、南洋群島ヨリ輸出ノ際ニ出港稅ヲ課スルコトヲ定メル積リデアリマス、然ニ其出港稅ヲ逋脱シタルモノニ對シマシテ、内地其他ニ於テ相當取締ヲ致ス所ノ必要ガアリマスル、其取締ニ關シマシテ大正九年法律五十二號ヲ改正スル必要ヲ認メマシタ次第ゴザイマス、ドウゾ御審議ノ上御協賛アラムコトヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ハ、日程第一ノ法律案ノ特別委員ニ付託シマス
貴族院議事速記録第二十八號 大正十一年三月二十日

ス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第六、農會法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、佐佐木侯爵

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

農會法案

大正十一年三月十七日

右特別委員長

侯爵 佐佐木 行忠

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔侯爵佐佐木行忠君演壇ニ登ル〕

○侯爵佐佐木行忠君 農會法案特別委員會ノ結果ト經過ヲ御報告申上ゲマス、此委員會ニ於キマシテハ、種々質問モアリマシタガ、重ナル御質問ハ此

第三十條ニ對スルコトデ、即チ強制徵收ノコトデアリマス、強制徵收ハ其御質問ノ二三ヲ申述べマスレバ、強制徵收ハ農村ノ負擔ヲ増加セシメ、サウシテ

結局ニ農村ノ荒廢ヲ來スヤウナ虞レハナイカ、或ハ又會費ノ滯納シテ居ルノハドウ云フ部分デアルカト云フヤウナ御話ガゴザリマシタガ、之ニ對シマシテハ唯今ニ於テモ、農會ハ農業者ハ他ノ商工業者ニ比シテ、或ハ比率上ハ負擔ガ重イカモ知レスガ、之ニ依テ農業ノ改良發達ガ出來ルト云フコトデアル

カラ、別段ニ當局ニ於テハ不都合トモ思ハヌ、又現在ニ於テ會費ヲ滯納シテ居ルモノハ、大體ニ於テハ小サナ農業者デナクテ大キナ農業者デアル、サウシテ之ニ付テハ數字デ以テ御示シヲ得タノデアリマス、ソレカラ今度斯ウ云テ居リマス、此法律案ガ制定セラレマスト同時ニ、別ニ勅令ヲ以テ南洋群島ガ、是モ矢張ズト町村ノ農會ノ方ニモ十分ニ尋ね、十分ニ研究シタ結果デアル、尙ホ附加ヘテ現在ニ於キマシテハ、會費滯納ノ場合ニ於テハ之ヲ取ル

フ風ニスルニ付テハ、是ハ町村ノ農會等ニモ諮詢タト云フ御話モアリマシタガ、是モ矢張ズト町村ノ農會ノ方ニモ十分ニ尋ね、十分ニ研究シタ結果デアル、尙ホ附加ヘテ現在ニ於キマシテハ、會費滯納ノ場合ニ於テハ之ヲ取ルノニハ訴訟ニ依ラナケレバナラヌ、斯ウ云フコトデアラ、雙方困難デアルガ、強制徵收ニスルナラバ、此解決ガ極メテ簡単ニ行クト云フヤウナ御話ガアツタ、所ガソレナラバ唯今ノヤウナ世ノ中ニ於テ強制徵收ト云フコトヲスル結果、却テ農村ノ思想ヲシテ激成セシムルヤウナ虞レガナイカ、斯ウ云フコトガアリマシタガ、是ハ矢張滯納シテ居ルモノガ却テ大キナ所ニ多イカラ、

町村等ニ於テモサウ云フ虞レハナイデアラウト云フ答辯デアリマス、ソレカラスウ云フ強制徵收ヲスルト云フヤウナ結果、會費ガ大變増シテ來ル、其結果濫費ヲスルト云フヤウナコトガアリハシナイカト云フコトガアリマシタガ、是ハ十分注意スル又會費ノ最高限ヲ定メルト云フコトハナイカト云フコトデアリマシタガ、是ハ認可スル時分ニ十分注意スルト云フ御話デアリマシタ、又農會ノ會長副會長ハ今迄ト變ツテ、名譽會員ト云フヤウナモノニセズ、農會員以外ノモノカラ之ヲ任用スルコトガ出來ル、此點ハ不都合デナイカトタ、又農會ノ會長副會長ハ今迄ト變ツテ、名譽會員ト云フヤウナモノニセズ、云フヤウナコトモアリマシタガ、是ハ原則トシテ新タニ農會法ニ於テハ會員カラ成ルタケ選ブ、併ナガラ他ニモ事情ガアルカラ全部サウスルコトハ如何ト云フヤウナコトデアリマシタ、其他此事業ニ付テ調停農村ノ紛議ノ調停、仲裁ト云フヤウナコトモ農會ノ事業ノ一ニ加ヘルト云フコトデアルガ、是モ一方ニ偏シテ規定スルト云フヤウナコトガナイヤウニ、是レ亦十分御注意ヲ乞フト云フヤウナコトデアリマス、又此補助金モ豫算ノ範圍内ト云フコトニナツテ居リマスガ、ソレハ今マデ十五萬圓デ、大正十一年度ニ於テモ十五萬圓ノ補助ト云フコトデアルガ、是ハ何カ變ツタコトガアルカト云フコトガアリマシタガ、是亦別段ニ今ノ所十五萬圓ヲ増スト云フヤウナコトハ書イタノデハナイ、唯他ノ法文トノ關係ガアルカラ豫算ノ範圍内、斯ウ云フ風ニ定メタノデアルト云フ御話デアリマス、大體マダ他ニ御質問モアリマシタガ、御質問ハ其位申上グマシテ御意見ヲ申上グマスルナラバ、或一員ヨリ本法ハ農會ノ爲ニ甚ダ有用デアル、サウシテ農村ノ負擔モ重イヤウデアルガ、是ハ一面ニ福利ヲ増進シ、又紛議ノ仲裁ヲスルト云フヤウナコトガアルカラシテ、是亦已ムヲ得ナイコトカモ知レヌ、併ナガラドウカ農會ノ費用ハ相當ニ制限シテ、施行令、省令ト云フヤウナコトデ以テ十分制限シテ貰ヒタイ、又農會ノ費用ノ濫用、或ハ暴用或ハ政黨ニ關係スルト云フヤウナコトヲ、十分ニ防イデ貰ヒタイ、又中央官廳ニ於テモ、地方官廳ニ於テモ此農會ニ對シテ監督機關ヲ設ケテ、十分監督シテ貰ヒタイト云フヤウナ御意見デ、是ハ御贊成ガ多數デアツテ、更ニ御一人ノ修正意見ガアツタノデアリマス、ソレハ第三十條ノ三項四項削除デテ、又更ニ強制徵收ト云フヤウナコトニ依テ、地方ノ負擔ヲ重クシテハイカ今ニ於テ此市町村ノ稅、其他協議費等ノ負擔モ重イノデアリマスカラシテ、此農會ノ事業ガ進ンデ農民ガ自覺スルニ至ルナラバ、強制徵收モ宜シイ

カ知ラヌガ、唯今デハ未ダ其時期デナイト云フヤウナ修正説ガアツタノデアリマスガ、是ハ少數デ否決セラレマシタ、而シテ此農會法案ハ大多數ヲ以テ提出ノ通り可決セラレマシタ、右報告申上ダマス

○議長(公爵目賀田種太郎君) 目賀田男爵ハ御質疑デスカ

○男爵目賀田種太郎君 質疑デアリマス農商務大臣ハ……

○議長(公爵目賀田種太郎君) 農商務次官ガ出席シテ居ラレマス

○男爵目賀田種太郎君 質問ヲ致シマス、三十條ニ付テ經費ハ、此費用ハ強制徵收ヲスルト云フコトノ規定ガアリマス、一體此當然ノ稅ノ性質ヲ有スルモノノ外ハ強制徵收ヲスルト云フコトハ、如何ナコトデアリマセウカ、市町村稅ニ於テモ強制法ヲ用ヒルト云フコトハ、其當時ニ於テモ隨分議論ノアツタコトデアリマス、併シ特ニ市町村稅ノ強制徵收ノ方法ハ用ヒ來ツタノデアマリスガ、水產會或ハ農會ト云フヤウナモノニ此法律ヲ適用スルト云フコトハ、立法ノ上ニ於テ甚ダ穩當ヲ缺クト思ヒマス、政府ノ御趣意ハドウ云フ譯デアリマスカ、御趣意ヲ伺ヒタイ

〔政府委員田中隆三君演壇ニ登ル〕

○政府委員(田中隆三君) 御答申上グマスガ、此度ノ農會法ハ提出ノ理由ヲ申上ゲル時ニ大臣ヨリ御説明申上グマシタ通り、其農會ノ爲スベキ仕事ノ範圍ヲ明瞭ニ致シマシテ、此農會ノ性質ハ公益法人デアルト云フ趣旨ヲ明瞭ニ致サレマシタノデアリマス、從テ其費用ヲ強制シテ徵收スルト云フコトハ、法律上ノ體裁ノ上カラ申シマスレバ、寧ロ普通ノ順序デアラウカト考ヘラレマス、併ナガラ費用ヲ強制徵收スルト云フコトハシナクトモ其目的ヲ達スルコトガ出來マスルナラバ、成ベクサウ云フコトハ避ケタガ宜シイト云フコトガ、段々政府ニ於テ御同感デアルノデアリマス、併ナガラ今日ノ實際ニ於テ、其費用未納ノ狀況ヲ取調べテ見マスルト云フト、世間デ或ハ議論ノアリマスヤウニ何カ資産ノ薄イモノカラ無理ニ費用ヲ徵收スルト云フヤウナコトモナカラウカト云フコトニ付テ、御疑惑ヲ抱カレテ居ルカト思フノデアリマス、アリマシテ、是ハ強制徵收ノ削除ヲスルト云フコトデアリマシタ、是ハ御贊成ガ多數デアツテ、更ニ御一人ノ修正意見ガアツタノデアリマス、ソレハ第三十條ノ三項四項削除デテ、又更ニ強制徵收ト云フヤウナコトニ依テ、地方ノ負擔ヲ重クシテハイカ今ニ於テ此市町村ノ稅、其他協議費等ノ負擔モ重イノデアリマスカラシテ、此農會ノ事業ガ進ンデ農民ガ自覺スルニ至ルナラバ、強制徵收モ宜シイシテ居リマス、此種ノ滯納者ト云フモノハ、極メテ少數デアルノデアリマス、之ニ反シテ大地主ニ屬スル者、餘計ニ土地ヲ所有シテ居ルヤウナ人ハ、

却テ大半數ノ滯納者ガアル、サウ云フ土地モ澤山所有シテ居ッテ、殊ニ農業上ノ經營施設ニ付テ利益ヲ餘計受ケベキ者ノ方面ニ、多數ノ滯納者ガアルト云フコトガ、一般ノ氣風ノ上ニ誠ニ面白カラヌ影響ヲ及ボシテ居ルト云フ實蹟ガアリマスノデ、併シ又是等ノ滯納者モ強ヒテ其農會ノ施設ニ付テ不服デモアツテ、反對ノ意味ニ於テサウ云フ費用ヲ納メナイカト申シマスト、偶ニハサウ云フノモゴザイマセウケレドモ、其大部分ハ矢張唯之ヲ取立ノ方法ガ

完備シテ居リマセヌノデ、之ヲ捨テ置イテツイツイ其ソレヲ投ヤリニシテ置イテ、ソレガ爲ニ滯納額ガ嵩ンデ來テ居ルト云フヤウナ事情ニアルヤウデアリマス、ソレデアリマスルガ故ニ、此度ハ取立ノ方法ヲ極メテ順序正シク、所謂租稅ト同様ニ致シマシテ、順次ニ取立テマスト云フト、費用ノ負擔ノ上ニ於テ苦痛モナシ、不平モ起ラズ、而シテ其費用ノ徵收ガ出來ル結果トシテ、極ク少ナイト小作人ノ方ノ負擔ハ、間接ニ減ズル爲ニ増スコトノナイヤウナ結果ヲ來スト思フ、現在ノ通りニ致シテ置キマスト云フト、大キナ部分ノ滯納者ガアツテ、小サナ部分ノミガ皆納メテ居ルト云フヤウナ譯デアリマスガ、此納メナイ即チ大キナ部分ノ人モ完全ニ納メテ吳レマスト云フト、其費用ガ充實セラレル譯デアリマスカラシテ、全體ノ經費ノ上ニ於テ餘程融通ガツクト云フコトニナリハシナイカ、サウ云フヤウナ實況カラ割出シマシテ、強制徵收ト云フ方法ニ依ツタ方ガ實際ノ上ニモ、理窟ノ上ニモ適合スルト云フヤウナコトニナラウ、斯ウ云フコトデ此法案ヲ提出イタシマシタノデアリマス

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ農商務大臣、若クハ法制局長官カラ立法ノ趣旨ヲ承リタイ、唯今ノ御説明ハ本員ノ求メタ所デハナカッタノデアリマス
○議長(公爵德川家達君) 目賀田男爵カラ唯今ノ御要求ガゴザイマシタカラ、便宜上此農會法案ノ議事ハ一時留保シテハ如何デゴザイマスカ
〔異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス
○議長(公爵德川家達君) 日程第七、裁判所ノ設立ニ關スル法律案、政府提

出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、上山満之進君、日程第八、大正二年法律第九號中改正法律案モ同一委員ニ付託セラレマシタカラ、一括シテ煩ハシタイト考ヘマス

裁判所ノ設立ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正十一年三月十六日

右特別委員長

上山 滿之進

貴族院議長公爵德川家達殿

大正二年法律第九號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月十六日

右特別委員長

上山 滿之進

貴族院議長公爵德川家達殿

〔上山満之進君演壇ニ登ル〕

○上山満之進君 唯今問題ニナリマシタ案ニ付テ、委員會ハ三回開キマシタガ、其時間ハ極メテ短カッタノデアリマス、問題ガ極メテ簡単ナコトデゴザイマシテ、澤山ノ質問モゴザイマセヌデ、滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、提案ノ、本案ノ理由ハ先達テ本會議ニ於テ司法大臣ヨリ説明ガアリマシタカラ御承知ノコトト考ヘマスガ、極ク簡單ニ申上グマス、福岡縣ノ鞍手郡ト田川郡ニ各、一箇所ノ區裁判所ヲ新ニ設ケル、其間ノ規定シテアルノガ裁判所ノ設立ニ關スル法律案デアリマス、之ニ伴ツテ區裁判所ノ管轄區域ヲ定メナケレバナラヌ爲ニ、今一つ大正二年法律第九號中改正法律案ガ提出サレマシタンデアリマス、現在ノ飯塚小倉ノ區裁判所ノ管轄ヲ分ツテ田川郡ニ區裁判所ヲ置キ、行橋區裁判所ノ管轄ヲ分ツテ田川郡ニ區裁判所ヲ置クト云フコトナノデアリマス、此ニツノ區裁判所ヲ設ケル必要ナル理由ハ、近年此地方ノ發達ニ伴ウテ民刑事等ノ事件ノ數ガ非常ニ多クナッタ、今度新ニ設ケムトスル二ツノ區裁判所ノ管轄區域ニ於ケル民刑事、就中刑事ノ數ハ九州地方ニ於テ多ク其比ヲ見ナイ程ノ多數ニ上ボツテ居ルノデアリマス、デ是非共區裁判所ハ新ニ設ケ

ナケレバナラヌコトデゴザリマシテ、委員會ハ之ヲ正當ナル要求ナリト認メ
タノデアリマス、序ニ申上ゲテ置キマスガ、經費ハ建物ハ地方カラ全部寄付
スルノデアリマス、ソレカラ經常費ハ既定ノ豫算ノ範圍内ニデモスルト云フ
コトデアリマス、從ツテ豫算ニハ何等ノ關係ヲ持タヌ問題デアリマス、ドウ
カ御賛成ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガナケレバ、唯今上山委員長ノ説明セラレ
マシタ兩案ヲ一括シテ議題ト致シマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ御異存ゴザ
イマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ此兩案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザ
イマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

ス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセ
ヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通りテ御
異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第九、第十八同一委員ニ付託セラレマシタカ
ラ一括シテ議題トシ、委員長ノ報告ヲ煩ハスコトニ致シマス、御異存ゴザイ
マセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第九、傳染病豫防法中改正法律案、日程第十、
海港検疫法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、
實吉子爵

傳染病豫防法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月十七日

右特別委員長

子爵實吉 安純

貴族院議長公爵徳川家達殿

海港検疫法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月十七日

右特別委員長

子爵實吉 安純

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵實吉安純君演壇ニ登ル〕

○子爵實吉安純君 唯今議題ニ上ボリマシタニツノ案デゴザイマスガ、是ハ
此委員會ハ三回開キマシタガ、其結果ハ兩案共滿場一致ヲ以テ原案通リ可決
シタノデアリマス、其經過ヲ簡單ニ申上ゲマスト云フト、此傳染病豫防法ト
云フ中ニハ、第一條ニ是マデ病名ガ八ツ、八種傳染病ト云フノガアリマシタ
ノヲ、ソレヲ十二殖ヤシマシタノデアリマス、ソレハ「腸チフス」下ニ「バラ
チフス」ト云フモノヲ加ヘ、ソレカラ「流行性腦脊髓膜炎」ト云フモノヲ加ヘ、
ソレデ十種ニナツタノデアリマス、又此十種ノ中ニ「赤痢」ト云フ中ニ疫痢ヲ含
ムト云フコトガアリ、「ヂフテリヤ」ト云フ中ニ格魯布ヲ含ムト云フヤウナコ

トモアリ、勿論擬似症、類似症ヲ加ヘルト餘程數ガ殖エテ參ル譯デアリマス、所デ此改正ニナツタ中デ、文字ガ是マデハ「腸チフス」ト云フノハ、頭ノ腸ノ字ガ一ツト、室扶斯ト云フ漢字ガムヅカシイ字ヲ書イテ、ソレデナカナカ差支ガ起ル、困ル人ガアルト云フノデ、ソレヲ片假名ニシタ、「ヂフテリヤ」デモ其通リデアリマス、其點ガ……種類ヲ二三加ヘタト云フコトト、ソレカラ文字ヲ片假名ニ改メタト云フノガ主ナル點デアリマス、ソレカラ第一條ノ中ニ此法律ヲドノ病氣ニモ皆適用スルト云フコトニナルト隨分迷惑スル人モアリ、又不必要ナル點モアリマスカラシテ、或病氣ニ於テハ其一部分ヲ施行スルコトヲ得ル、全部デナク、此法律ノ一部分ダケヲ施行スルコトガ出來ル、ソレハ勅令又ハ省令ヲ以テ決メルト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ第二條ニ於キマシテ類似症ト云フヤウナモノデモ、「コレラ」ト「ペスト」ダケハ即チ全部此法律ヲ適用スル、他ノ擬似症ニ於テハ、唯今申シタ通り一部施行スルコトモアルト云フコトデアリマス、ソレカラ第二條ノ二ニ加ヘタモノガアル、新シイ文字デアリマス、是ハ「病原體保有者」ト云フコトデアリマス、病氣ノ容態ヲ發セズニ病毒ヲ身體ニ保有シテ居ルト云フ者デアリマス、マダ病氣ハ發セズ病原體ダケヲ有ッテ居ル、或ハ病氣ガ治ッテモ、マダ病原體ヲ保有シテ居ルト云フモノデアリマスカラシテ、ソレノ取締ト云フモノガ一ツ加ッタノデアリマス、其外色ニアリマスルガ、先ヅ主ナ點ハソレ位デアリマシテ、ソレカラ、第十六條ノ二ト云フ所ニ「昆蟲等」ト云フコトヲ加ヘマシタ、即チソレハ色ミナ鼠族、ソレカラ昆蟲ト云フコトヲ加ヘタノデ、其昆蟲ト云フノハ蟲トカ蚤トカモウ少シ廣ク云フト、蚊トカ蚋トカ云フモノモアリマスガ、兎ニ角昆蟲ト云フノモノ、蟲トカ蚤トカ云フモノガ病氣ヲ之ニ移ス、即チ媒介者トナルト云フコトデアリマスカラシテ、其取締ノ途ヲ開ク爲ニ之ヲ加ヘタノデアリマス、ソレカラモウ一ツ十八條ニ於キマシテハ、是マデ船舶汽車ト云フコトガアツタノヲ、ソレニ「電車」ト云フコトヲ加ヘタノデアリマス、之ニハ色ミ質疑モアリマシタガ、兎モ角電車ト云フコトデモ市内電車ハ舍マナイ、ソレハ必要ナイ、即チ比較的遠距離ノ電車ハ或ハ必要ガアルカモ知レヌ、又今後主モナ汽車即チ鐵道ガ電車ニナツタリスルコトモ、或ハ近キ將來ニアル見込デアルシ、旁、電車ト云フ文字ヲ加ヘルコトニナツタノデアリマス、併ナガラ是ハ命令ヲ以テスルト云フコトデアルノデゴザイマス、ソレカラ仕舞ヒニ

アリマス「北海道地方費」トカ「道府縣」トカ云フ文字ハ是マデハ府縣若クハ地方ト云フヤウナ風ニ、府縣稅若クハ地方稅ト云フヤウナコトニナツテ居リマシタガ、是ハ此頃ノナニニ依テ「北海道地方費又ハ府縣」ノ負擔トスルト云フヤウナ風ニ、改メタ點ガアリマス、ソレカラモウ一ツ第二十五條ニ於テハ是マデ傳染病ノナニハ國庫カラ六分ノ一ヲ補助スルト云フコトニナツテ居リマスガ、ソレデハ地方費ガ餘リ膨脹スル場合モアルシ、ソレカラシテ六分ノ一乃至三分一ヲ補助スルト云フコトニ改メタノデアリマス、併シサウシマスト又國庫ノ負擔ガ餘リ多クハナラナイカト云フヤウナコトモアリマシタガ、併ナガラ政府委員ノ説明ニ依リマスト、先づ是マデノ普通ノモノハ六分ノ一、併ナガラ「ペスト」トカ「コレラ」トカ、サウ云フ急激ナモノデ非常ニ地方費ノ負擔ガ重クナルト云フヤウナモノニ對シテハ、三分ノ一マデ補助スル積リデアルト云フコトデアリマシタカラシテ、ソレデ原案通り別ニ異議ハナカツタノデアリマス、ソレカラ一番仕舞ヒニ色ミナ罰則ガアリマスガ、其罰則ハ是マデ「五圓以下ノ罰金」トナツテ居ッタノヲ、今度ハ「百圓以下」、或ハ「五圓以上五十圓以下」ト云フノヲ「三百圓以下」ト云フヤウナ風ニ、少シ額ガ殖エタノデアリマスガ、是ハ他ノ斯ウ云フ種類ノ罰則ニ照シテ、是ダケ上セルノハ相當デアルト云フコトデアルサウデアリマシテ、之ニハ異議ガゴザイマセヌデシタ、ソレカラ海港檢疫法ニ付マシテ、矢張是モ傳染病豫防法ト云フノトカツタノデアリマスガ、即チ病原體保有者ト云フコトガ、即チ病氣ヲ身體ニ持ッテ居ッテ、未ダ病氣ヲ發シテ居ナイ、或ハ病氣ガ治ッタヤツデモ、マダ病毒ガ殘ツテ居ルト云フモノヲ、病原體保有者ト云フノデアリマスカラシテ、大同小異デアリマスガ、即チ病原體保有者ト云フコトガ、即チ病氣ヲ身體ニ持ッテ居ッテ、未ダ病氣ヲ發シテ居ナイ、或ハ病氣ガ治ッタヤツデモ、マダ病毒ガ殘ツテ居ルト云フモノヲ、病原體保有者ト云フノデアリマスカラシテ、此海港檢疫法ニ於テモ、ソレヲ適用スルコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ此海港檢疫ノ中デモウ一ツ、港外ニ於テ檢疫ヲスルト云フノガ一ツアリマス、ソレヲ暴風雨等ノ爲ニ逆モ檢疫スルコトハ出來ナイ、サウシテ長イ間入レテサウシテ檢疫ヲ行フコトモアル、サウ云フ便宜ヲ圖ル爲ニ、港外デドシタ場所ニ於テ檢疫ヲ受ケルコトガ出來ルト云フノハ即チ港内ノ或一部分ニ

污染シタト云フコトガ、解ツテ居レバ無論デスガ、汚染ノ疑ガアルモノト云フコトデ、死者又ハ傳染病ニ汚染シ、若クハ汚染シタル疑アルモノト云フコトデ、

汚染シタト云フコトガ、解ツテ居レバ無論デスガ、汚染ノ疑ガアルモノト云フヤ

ウナモノマデモ加ヘルト云フコトニナツタ點ガアルノデアリマス、段々外ノ

所ニモアリマスガ、汚染シタル……病毒ノ汚染シタルト云フダケデナク、汚

染シタル疑アリト云フコトモ加ヘテアルノデ、ソレカラ之ニモ矢張海港検疫

ノ方ニモ、此昆蟲、即チ鼠族、若クハ昆蟲ト云フヤウナ事ヲ加ヘタノデアリ

マス、是ハ自然傳染病豫防法ト云フモノヲ、コチラニ適用スルノデアリマス

ルカラシテ、同ジ文字ガアル譯デアリマス、ソレカラ是モ罰則ハ矢張是マデ

五十圓以上五百圓以下ト云フノヲ、今度ハ千圓以トト云フ風ニシマシタ、ソ

レカラモウツハ船ノ來ル場所デゴザイマス、是ガ臺灣、朝鮮、樺太等カラ

來タモノハ矢張内務大臣ガ適當ナルコトニシテヤル、ソレヲ悉ク外國カラ來

タモノト同様ニハヤラヌト云フ風ノコトハ、是ハ命令デ定メルト云フコトニ

ナツテ居リマス、ソレデ大體其通リデアリマスガ、唯一二ノ希望ガアリマシ

タ、其希望ハ是マデ消毒方法ヲ施行スルト……實行スルト云フ時ニ方ツテ、ド

ウモ病毒ト云フモノガ全體飲食物カラ來ルノト、或ハ空氣カラ來ルノト、或

ハ今ノ皮膚カラ這入ルノト、此三色、先ツ主ニアルノデアリマス、空氣カラ

來ルノト、飲食物デ來ルノト、ソレカラ皮膚カラ、傷カラ、サウ云フノヲ何

モ彼モ構ハズニ一樣ノ消毒ヲスルト云フ風ノコトガ、兎角アリ勝デアル、ソ

レデソレニ付テハ成ベク不必要ナ點、人ノ迷惑セナイヤウニ且ツ有效デ、即

ヤウニ成ベクヤリタイ、サウ云フ希望ガ出マシタ所ガ、政府委員ニ於テモ必

ズソレハサウ云フコトニ考ヘテ居ルト云フコトデアリマシタ、例ヘバ海港檢

疫ノ方ニ於テモデス、船内ノ乘組員、或ハ乗客ニ幾ラカノ傳染病ガアルト、

ソレ全體ノ乘組員數百人ト云フヤウナ人ヲ殘ラズ豫防法ヲ行フ、或ハソコニ

留メテ置クト云フコトハ甚ダ迷惑スル人ガ多イノデアルカラ、其中デモ一部

分即チ其病毐ニ汚染シタ、或ハ近所ニ居ツタ者ハ仕方ガナイガ、遠方ニ離レテ

居ツテ、何モノレト交通ガナイ病毐ヲ其人ガ感染シタ憂ガナイト云フヤウナコ

トガハツキリシタ場合ニハ、成ベク其一部分ノ人ニ止メテ、全般ノ人ニ迷惑

ヲ掛けヌヤウニシテ行キタイト云フ希望ガ出マシタ、ソレデ政府委員ノ方デ

モサウヤラウ、サウシテソレニハ内務……勅令若クハ省令ヲ出シテ細則ヲ設

ケルト云フコトデアリマシタ、サウシテ其他ハ總テ先キニ申シマシタヤウニ

全會一致ヲ以テ政府案通り可決イタシマシタ、此段御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 兩案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌ

カ

「「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、兩案全部ヲ問題ニ供シマ

ス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵立花種忠君 贊成

「「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、兩案全部ヲ問題ニ供シマ

ス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵立花種忠君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ兩案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十一、壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月十五日

右特別委員長

櫻井 錠二

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔櫻井鉢二君演壇ニ登ル〕

ス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○櫻井鉢二君 壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法案ニ關スル特別委員會ノ經過及ビ

結果ニ付テ御報告ヲ申上ゲマス、近時化學工業ノ勃興ニ伴レマシテ、壓縮瓦

斯及ビ液化瓦斯ヲ使用スルコトガ頗ル多キヲ加フルニ至リマシテ、是ガ爲ニ

大小ノ災害ヲ生ズルコトモ亦少ナカラザルモノアルニ至リマシタルコトニ鑑

ミテ、適當ナル取締法ヲ必要ト認メ、本案ノ提出トナッタル次第デアリマス、

委員會ハ二回會議ヲ開キマシテ、質問應答ヲ重ネ、慎重ニ審議ヲ致シタノデ

アリマス、其質問應答ノアリマシタル一二ノ點ヲ申上ゲマスルナラバ、本法

ノ……本法案ノ適用ヲ受クベキ所ノ壓縮瓦斯及ビ液化瓦斯ノ種類竝ニ其壓力

ノ範圍、本法案ト工場法トノ關係、其他本法ニ基イテ規定セラルベキ所ノ各

種命令ノ内容等デアリマシテ、是等ノ點ニ付マシテハ政府委員カラ明細ナル

ノナイト云フコトノ趣デアリマスルカラシテ、此取締法ガ實施サレマシタガ

爲ニ、斯業ノ發達ヲ阻止スルト云フヤウナコトモ萬々之アルマジキコトハ、

委員會ニ於テハ信ジタ次第デアリマス、即チ審議ノ結果全會一致ヲ以テ原案

ヲ可決イタシタノデアリマス、此段御報告申上ゲマス、尙ホ御審議ノ上何卒

委員會ノ決議ヲ御採納アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌ

カ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌ

カ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○内田嘉吉君 貴族院議長公爵徳川家達殿

〔内田嘉吉君演壇ニ登ル〕

右特別委員長

内田 嘉吉

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十二、船員職業紹介法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、内田嘉吉君

船員職業紹介法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月十七日

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス

スノハ約二百七十箇所モアリマス、而シテ此營利的ノモノハ、多數ノ海員ヲ媒介イタシマス上ニ於テハ便利デゴザイマスルガ、之ニ伴ヒマシテ又弊害モ少ナクナインデアリマス、司法警察ノ法規ヲ以テ取締ガ致シテアリマスガ、法律ノ嚴重ナル制裁ノ下ニ之ヲ經營サセル必要ガアルト一般ニ認メラレテ居ツタノデアリマス、而シテ昨年ノ議會ニ陸上ノ勞働者ニ關シマシテ、職業紹介法ガ制定ヲセラレマシタ、又大正九年、「ゼノア」ニ國際勞働會議ガ開催イタサレマシテ、船員ノ職業紹介ニ關シマシテ條約案ガ議決イタサレタノデアリマス、是等ノ新シキ規定ヲ施行イタシテ見マスト、各國ニ於キマシテ出來得ル限り速ニ營利的ノ紹介事業ヲ廢シテ、無料且ツ公設ノ職業紹介ノ機關ヲ設ケルヤウニスルコトガ、必要ト認メラレテ居ルノデゴザイマス、即チ此度政府ニ於テハ此趣旨ヲ汲ミマシテ船員職業紹介法案ヲ制定ヲ致スト云フ考デ、帝國議會ニ提出シタノガ本案デアルノデアリマス、本案ノ要旨ハ法文ニ規定シテゴザイマス通り、此適用ヲ受ケマスル船員ハ、沿海航路以下ノ航路ニ於テ、其船舶ニ乗込ム者ニ適用ヲ致サレル譯デアツテ、而シテ漸次機關ガ整頓イタシマスルト、平水航路ヲ航行スル船舶ニ乗込ム者ニ向ツテモ、亦之ニ適用スルト云フ趣旨デゴザイマス、而シテ從前ハ警察法規ノ下ニ取締ハ設ケラレテ居リマシタガ、將來ハ總テ船員職業紹介ノ事業ハ、行政官廳ノ許可ヲ受ケテ經營ヲ致スペキコトニ今度定メラレタノデアリマス、即チ行政官廳ト申シマスルノハ所管省デアル所ノ遞信省ノ行政官廳デアリマス、而シテ從前ニ於キマシテハ、政府ニ直接ニ此事業ヲ經營ヲ致シテハ居リマセヌデアリマシタガ、今回ハ必要ニ應ジテ政府ガ直接ニ此紹介事業ヲ營ムコトモ出來ルヤウニナツテ居リマス、又政府ニ於テ必要ト認メマス場合ニハ、命令ノ規定スル所ニ從ヒマシテ、公ノ利益ヲ目的トスル所ノ法人若クハ團體ニ經營サセルコトモ出來マス、而シテ總テノ此職業紹介ニ關シマシテハ無料ト云フコトガ原則デアリマス、隨ヒマシテ手數料其他名義ノ如何ニ拘ラズ、利益ヲ被紹介人カラ受ケルコトハ許サレテ居リマセヌ、是等ニ對シテハ或ハ許可ヲ受ケズ若クハ手數料ヲ徵收スルヤウナ場合ニハ、六箇月以下ノ懲役若クハ五百圓以下ノ罰金ニ處スルコトニ制裁ヲ設ケテ居リマス、而シテ此監督ニ付マシテハ、遞信大臣ガ主務大臣ト致シマシテ、相當ノ命令ヲ發シ又委員會ヲ設ケテ、是ガ實行ニ付マシテハ種々ノ施設ヲ致サレル趣デアリマス、大體ノ法規ハ唯今申上ゲマシタヤウデアリマスガ、經過ノ法規ト致シマシテハ必要デアリマス、

茲ニ先程申上ゲマシタ、現ニ營利的ノ目的ヲ以テ職業紹介ヲ營ンデ居リマスル此事業ヲ、目下本法ノ施行ト共ニ總テ之ヲ廢止スルト云フコトハ、實狀ニ於テ不便ヲ釀ス譯デアリマスルカラ、當分ノ中命令ヲ以テ規定ヲ設ケマシテ、是ガ營業ノ繼續ヲ許スト云フコトニ致シタト云フ趣旨ガ附則ニ定メテゴザイマスル、此コトハ「ゼノア」ノ會議ニ於キマシテモ、即チ船員職業紹介ノ條約ノ案ニ於キマシテモ、一時斯様ナル施設ヲ繼續スルコトヲ得、政府ニ於テハ成ベク速ニ之ヲ廢止スルノ措置ヲ執レト云フコトガ規定セラレテ居リマスノデ、經過ノ規定ト致シマシテハ適當ナモノデアラウト思ヒマスル、大體斯様ナ趣旨デゴザイマスルノデ、委員會ニ於キマシテハ出席委員ノ全會一致ヲ以テ可決スベキモノト認メタノデゴザイマス、而シテ唯今申上ゲマシタ現ニ存在スル營利的ノ職業紹介事業ニ付マシテハ、「ゼノア」ノ條約ニモアリマスル通リ弊害モ尠ナクナイ次第デアリマスカラ、公且ツ無料ノ職業紹介所ヲ一層速ニ之ヲ増設シテ、サウシテ唯今申上ゲマシタ營利的ノ職業紹介所ト云フモノハ、成ベク速ニ廢止スル方法ヲ執ルベキコトヲ必要ト認メルト云フコトノ希望ヲ政府ニ申出マシテ、政府ニ於テモ大體ノ意ヲ諒トシテ可決スルニ至ッタ次第デゴザイマス、目下ノ時機ニ對シマシテハ適當ナ法律ト認メマシテ、可決イタシタ次第デゴザイマスカラ、速ニ御賛成アラムコトヲ希望イタシマス○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 「異議ナシ」と呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 「異議ナシ」と呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌ力

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リテ御異議ゴザイマセヌ力

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 農商務大臣ガ出席セラレマシタカラ日程第六ノ議事ニ戻リマシテ、目賀田男爵

○議長(公爵徳川家達君) 農商務大臣ニ質疑イタシタウゴザイマス、農會法三十條ニ於テ會員ガ負擔スル經費ノ徵收ニ關シテ、強制徵收ヲ用フルコトニナッテ居リマス、其點ニ關シテ私ハ立法上甚ダ不穩當ト考ヘマス故ニ、御趣意ヲ伺ヒタウ存ジマス、農會ノ經費ニ強制徵收ヲ用フルノハ市町村稅ノ例ニ依ルトカ云フコトデアル、所ガ市町村稅ニ強制徵收ヲ用フルノハ、是ハ國稅ノ徵收法ニ依ルト云フコトデアルガ、一體市町村稅ニ國稅ノ徵收法ヲ用フルノガ餘リ穩當デナイ、何トナレバ市町村ト云フモノハ自治デアル、國ノ國稅徵收法ニ依テ、自治ナル市町村稅ニ強制徵收ヲ用フルト云フノガ不穩當デアルト云フノデ、是ハ其當時大分議論モアリマシタガ、兎ニ角ニ便宜市町村ニ強制徵收ノ法ヲ用フルコトニナッテ居ル、ソレスラ餘リ穩當デハナイ、何トナレバ自治デアルナラバ、自治體自ラ適當ナル他ノ方法ヲ設ケテ市町村稅ヲ徵收スルコトガ相當デアル、ソレガ故ニ自治ナル農會法、ソレノ執行ニ於テ、強制徵收ノ法ヲ用フルト云フスコトハ如何デアリマセウカ、實ハ農商務省ノ所管ニ於テハ多ク此法ヲ用ヒラレテ、水產會法ニ於テモ確カ同様ニナッテ居ルト思フガ、本員ハソレニ對シテモ餘リ穩當ト思ハレヌ、尙之ヲ斯ウ云フ風ニ強制徵收ノ方法ヲ用フルト云フ政府ノ御趣意ハ如何デアルカ、ソレヲ伺ヒタイ

「國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル」

○國務大臣 男爵山本達雄君 此度提出イタシマシタル農會法ニ付マシテ、

第三十條ニ強制徵收ヲ行フト云フコトニ付テノ御質問デアリマスガ、御承知ノ通ニ是マデ農會法ハ頗ル不完全ナモノデアリマシテ、重ニ農商務令ニ依テ成立ツラ居ルノデアリマスル、此度色々整理イタシマシテ、公法人トナルベキ農會法ニ改メマシテ提出イタシタ次第デアリマス、公法人トシテ法ニ依テ斯ノ如キ規定ヲ制定シマスル以上ハ、ドウモ強制徵收ニ依ルノガ最モ至當デアルト思ヒマシテ作ツタコトデアリマス、從來ニ於キマシテハ農會員ニシテ納稅ヲセナイ時ニ當リマシテハ、民事訴訟ニ依リマシテ、サウンテ行クコトニナッテ居リマス、何シロ此農村ナルモノハ如何ニモ廣ウゴザイマシテ、會員ガ廣クアチラコチラニ散在シテ居ルモノデアリマス、ソレ故ニ理由ナク納稅ヲ致サナイ時ニ於キマシテ、之ヲ裁判ノ力ニ依テ徵收ヲスルヤウナコトニ行キマスト、非常ニ手數ヲ要シマシテ、殆ド實行不可能ニ涉ッテ却テ徵收スベキヨリモ訴訟入費ノ方ガ多イト云フヤウナ實際デアリマス、ソレ故ニ納收ノ時徵稅ニ應ジナイト云フ者ニ付テハ、其儘ニナルヤウナコトガ今日ノ實際デアリマス、サウ云フヤウナ關係ヨリ致シマシテ、眞面目ナ正直ナ人ハ却テ其負擔ヲ致シテ居ルノデアリマス、之ニ付テ却テ反對ナルコトニ依テ納稅ノ徵收ニ應セズシテ、居ル如キコトガ多イノデアリマス、先日モ申述ベマス如ク却テ地主ニシテ、大ナル地面ヲ持チ資產ヲ持テ居ルヤウナ人ガ徵收ヲ免レル如キコトニナリマシテ、知ラズ識ラズ正直ナル者ガ其負擔ヲ餘計シナケレバナラヌト云フヤウナコトニナルノデ、農會ニ於テ入費ハ要ルダケノモノハ要ルノデアリマスガ、併シ其徵收ニ應ジナイ者ガアル爲ニ、外ノ者ガ翌年ニハ餘計ナモノヲ出サナケレバナラヌト云フコトニ陷ルノデアリマス、ソレ故ニ是ハ法ヲ設ケテ公法人トスル以上ハ、公平ニソレヲ徵收スル途ヲ取リタイ、ソレニハ強制徵收ニスルコトガ至當デアラウト思フ次第デ、從ツテ是マデノ例ヲ申シマスト云フト、工商ニ於キマシテハ、ソレヲ代表スベキ商業會議所ニ於キマシテハ既ニ強制徵收ガ行ハレテ居ルノデ、又今御述ベニナリマスル水產法ニ於キマシテモ強制徵收ヲ致シテ居ルノデゴザイマシテ、是マデ先例モアルコトデゴザイマス、矢張農工商ノ代表トナルベキモノハ、商業會議所ナドト同ジヤウニ、農會法ニ於テモ強制徵收ヲ爲スガ至當ナリト考ヘテ、左様ニ致シタ次第デアリマス

○男爵目賀田種太郎君 公法人ト云フハドウシテモサウナリマスカ、此性質ハドウシテ公法人デゴザイマスカ

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 法律ノコトデアリマスル故ニ、法制局ノ専門家ヨリ申述ベルコトニ致シマス

〔政府委員馬場鍛一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(馬場鍛一君) 唯今ノ御尋ハ農會ヲ何故ニ公法人ト認メテ居ルカ、斯ウ云フ御尋デアリマス、公法人ト云フモノノ觀念ニ付マシテハ、實ハ學者ノ間ニモ段々議論ガアルヤウデアリマス、併ナガラ本案ニ依ル農會ノ如クニ、農業ノ改良發達ヲ目的ト致シマシテ國家ノ恰モ機關ノ如ク國家ノ行政ヲ助ケテ行ク所ノ一ツノ國家的機關ノ如キ働ヲ有ツテ居リマシテ、且ツ其加入ニ付キマシテハ本案ノ如クニ強制加入ヲ認メテ居ルノデアリマス、即チ或一定ノ資格ノアル者ハ其農會ガ成立イタシマシタ區域内ニ於テ、當然會員トナルト云フ規定モアルノデアリマス、尙ホ又此會費ノ強制徵收ヲ認メルト云フヤウナ方針ヲ目シテ、大體ニ於テ公法人ト云フ風ニ説明ヲ致シテ居リマス、其主眼點ハ所謂強制加入、國家的行政事務ノ機關トシテ働ク、サウ云フヤウナ點カラ大體目シテ居ル次第デアリマス、併シソレ等ニ付マシテハ學者ノ間ニ色ムノ議論モゴザイマスガ、此農會法ニ依リマシテ、農會ヲ私共ハ公法人ト觀念スルコトハ適當デアラウト信ジテ居リマス

○男爵目賀田種太郎君 従來ノ法律ニ依テ決定セラレタル組織機關ニシテ、ソレト同ジク公法人トナッテ居ルモノガゴザイマスナラバ、ソレヲ列舉セラレタイト思ヒマス、ソレカラ今一ツハ唯今ノ御説明ダケデハ公法人ノ性質ハマダ乏シイヤウニ私ハ思ヒマスガ、無論第二條ニ公法人ト爲スト書イテアリマスガ、此法律ヲ以テ公法人ナリト推定スルノハ如何ナルモノデアリマセウカ、法律ハ末デアル、其組織機關ノ性質ガ公法人ノモノデアレバ、無論サウデアリマスガ、唯今ノ御説明ニ依リマスト私ハ了解イタシ兼ネマスガ、他ニ例ハゴザイマスカ

〔政府委員馬場鍛一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(馬場鍛一君) 公法人ノ最モ顯著ナルモノハ、言フマデモゴザイマセヌガ府縣、市町村ノ自治團體デアリマス、サウデナクシテ今日何人モ争ヒナキ公法人ト言ヒマスレバ商業會議所、又最近ニ出來マシタ水產會或ハ畜產組合、又今回ノ農會ナゾモ、是ハ學者間ニ議論ハナカラウト信ジテ居リマス、ソレカラ尙ホ公法人ト私法人ト如何ニシテ極メタノデアルカ、法律ノ

上デ特ニ公法人ト斷ハッテハナイノデアリマス、ソレ故ニ唯法人ト規定シテアル爲ニ解釋上ニ於テハ人々多少違フ場合モアリマスガ、先刻私ノ述ベマシタヤウナ要件ヲ具備シテ居ルモノハ、是ハ學者モ殆ド公法人ト認メテ異議ハナイト思フ、大體サウ信ジテ居リマス

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ實ハ唯今述ベラレマンシタ例ニ付テ必シモ承服シテ居ラヌガ、是カラ先キハ議論ニナリマスカラ、質問ハ止メマス

○男爵武井守正君 農商務大臣ニ御尋イタシタイ、唯今ノ御説デハ商業會議所ガ既ニ強制徵收ヲシテ居ルト云フ仰セデアリマスガ、商業會議所ニ於テハ會費ヲ強制徵收スルト云フコトニナッタ、所ガ何程ノコトモシナイ、始ド無用デアルト云フコトデ議會ニ於テハ之ヲ削リマシタ、年ヲ經マシテ後ニ、是マデノヤウナコトデナク、農商務大臣ハ以來ハ注意ヲシテ以前ノヤウナコトハサセヌト云フヤウナ返事ヲサレタノデアルカラ、尙ホ再ビ強制徵收ニ極メラレタト云フ時ニデアリマス、固ク私ハ將來ハ從來ノヤウナ無用デナイト云フコトヲ當局ノ言明ノ上ニ於テ贊成ヲ表シマシタ、今日世間デハ強制徵收ニ依テ非常ナ稅ヲ課スルガ、ソレ程ノ仕事ハ舉ツテ居ラナイ、殆ド仕事ハシテ居ラヌ、是ハ無理モナイコトデアル、皆忙シイ商業者ガ片手間ニ會員ニナッテ居ル、專心此コトニ從事スルト云フコトハ出來ナイ、爲ニ仕事ハ何モ出來ナイ、商業家ハ無用視シテ、徒ニ稅ヲ取ラレテ居ルト云フ觀念ヲ抱イテ居ル者ガ多イノデアリマス、今日此農會ニ強制徵收ヲ許シタナラバ、町村ノ經濟ハドウナルカト云ヒマスルト、今日教育費デスラ負擔ガ出來スカラ、國庫支辨ヲ仰ギタイト云フコトハ近來大ニ喧ビスシイノデアリマス、先刻農商務次官ハ地所ヲ持ツテ居ル資產家ノ如キモノガ會員デアル、其資產家ガ會費納入ヲ怠ッテ居ルカラ不埒デアルト云フ御口上デアリマシタガ、町村全體カラ見ルト今日ハ非常ニ費用ガ嵩ミマシテ、二部教授マデ敷イテ尙ホ子弟ヲ教育スルコトガ出來ヌト云フコトデ、國庫支辨ヲ仰ギタイト云フノデアリマス、ソレニ尙ホ且ツ近時ハ水產會、畜產會ト云フモノガ、矢張此強制徵收法ヲ設ケラレマシタ、而シテ是ハ水產家ナリ畜產家ナリニ強制徵收ヲ強ヒルノデアリマスガ、今日ノ農會法ニナリマスト、總テ農民全體ノ頭ニ掛リマスカラ、非常ニ苦痛ヲ感ズルノデアラウト云フ本員ハ疑ヲ有ツノデアリマス、而シテ又此法ニ依リマスト、必ズ其會員デナクトモ宜イ、役員ヲシテ居ツテモ差支ナイト云フコトニナッテ居リマスガ、蓋シ又政黨ノ爭デ混雜ヲ惹起スルト云フコトモアリマス

セウシ、而シテ其爲スコトハドウカト申シマスト、農村ガ聯合大會ヲスルト云
フ時ハ縣廳ニ集リマス、又縣農會ハ中央政府ノ下ニ大會ヲ開クト云フコトニ
ナツテ參リマシテ、東京ニ參リマス、而シテ其滯在費トカ、其旅費トカ云フモ
ノノ爲ニ殆ド收入ハ使ツテ仕舞フコトニナリ、其仕事ハ何モ農民ノ頭ニ御蔭ヲ
被ラヌコトデアラウト思フ、此町村ノ負擔ノ重クシテ苦ンデ居ルト云フコト
ハ、蓋シ農商務大臣モ能ク御承知デアラウト思フ、ソレニモ拘ラズ何程ノ用
ヲ爲サヌ農會ノ爲ニ、農民ノ負擔ヲ重クセシメルト云フヤウナ御考デアリマ
スカ、ドウ云フコトカラ此法案ハ出サレタノデアリマスカ、ソレガ伺ヒタイ
ノデアリマス

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 此徵收法ヲ用ヒマシタノニ付マシテ、商業會
議所ノ例ヲ以テ御質問ガアリマシタガ、御承知ノ如ク此商業會議所ハ各國ニ
於キマシテモ、有志ノ團體ニ於テ成立ツモノト、又一方ニハ強制的ニ法律ニ
依テ成立ツモノガアルノデアリマスガ、日本ニ於キマシテモ、最初ニ於テハ
有志ノ團體ニ於テ、大阪ニ於ケル、又東京ニ於テ起ツタノデアリマスガ、是ガ
段々進ミマシテ、中頃ニ至テ徵收法ノ所謂商業會議所法ト云フモノガ制定サ
レマシテ、是ト同時ニ徵收法ニ依ルコトニナツタノデアリマス、併シ日露戰爭
ノ後ト記憶シテ居リマスガ、實業者ニ於テ營業稅初メ三稅ヲ、惡稅ト稱ヘテ
撤廢ノ請願ガ起リマシテ、遂ニ其結果トシテ商業會議所ガ衆議院ヲ争ヒ、色
色ノ事ヲシテ動モスルト云フト、政黨ニ關係スル如キ狀況ガ起ツテ、色々論議
ガ起リマシテ、遂ニ強制徵收法ハ止マリマシタコトデアリマス、既ニ此壇上
ジマシタ、又東京大阪ノ如キ所ニ於キマシテモ常ニ苦情ガアツテ、法ヲ設ケテ
置イテサウシテ其費用ヲ自由ニ委セラレテハ、如何ニモ商工業ニ於テ爲スベ
キ事ガ多イガ、困難ダト云フコトデ、度ノノ情願ガアリマシテ、遂ニ數年前
ニ於キマシテ、又強制徵收ニ復リマシタノデアリマス、是モ色ニ世ノ中ノ進運
ニ應ジマシテ、ドウモ商業會議所ガ何モナサヌカラシテ棄テ置イタト云フ
譯ニハ參リマセズシテ、矢張商業會議所ニ付テ團體ガアツテ、其所デソレゾレ
議シテ、此商工ニ付テ途ヲ進メナケレバナラヌヤウナコトガ多イノデ、餘儀
ナクソコニ至ツタノデアリマス、ソコデ此農會ニ於キマシテモ、如何ニモ今ノ

御質問ニ依リマスト、無用ノモノヂヤト云フ如キ御話ノヤウニ伺ヒマシタガ、
ドウモ農會法ト云フモノハ、既ニ今日制定サレテ、サウシテ町村農會、郡農
會、縣農會、中央農會、帝國農會ト云フ如キ順序ニナツテ居リマシテ、既ニ是
ハ制定セラレテ居ルノデアリマス、是ト同時ニ又其會費ト云フモノモ徵收サ
レテ居ルノデアリマス、サレテ居リマスガ、ドウモ法ガ不完全ト、又今ノ如
キモノニ相成ラナイデ居ルト、徵收ニ付テ不公平ノコトガ生ジテ參リマス、
此機關ガ不必要ナラバ是ハ又別問題デアリマシテ、先ノ有志ニ依テヤツタ、法
ヲ設ケズシテヤルト云フモノナラバ、是ハ別デアリマスガ、今日ノ時勢ニ依
リマシテハ、何トシテモ是マデ實體實現サレテ居ル、其農會法ナルモノヲ、
完全ノモノニシテ、サウシテ之ニ付テ有效ナル効ヲサセムト云フコトノ必要
ヲ餘ホド感ジツツアルノデゴザイマスカラシテ、政府ニ於キマシテハ、此產
業ノ發達ヲ圖リ、農村ヲ成タケ良クシテ、サウシテ往クノニ付テハ、必要ナ
機關デアリマス、斯ウ云フコトニ信ジテ居ル次第デアリマス、爾致シマシテ
此目的ハ如何ナルモノデアラウカ、其目的ヲ申シマスト、御承知ノ如ク農業
ノ指導獎勵ニ關スル施設、農業ニ從事スル者ノ福利增進ニ關スル施設、農業
ニ關スル研究調查、農業ニ關スル紛議ノ調停、又ハ仲裁、其他農業ノ改良發
達ヲ圖ルニ必要ナル事業、斯ノ如キ事ニ於キマシテ、ドウモ其農會法ヲ作り
マシテ、サウシテ農業ノ福利增進ヲ圖ルト云フコトヲシナケレバイケナイ、
從前ハ御承知ノ通リニ總テ政府ノ力ニ依テ進メルコトガ多イノデアリマシ
テ、農業ト云フ中デ、米麥ト云ヒ、茶ト云ヒ、養蠶ト云ヒ、多クハ政府ガ手
ヲ取ル如クシテ今日マデ來ツタノデアリマスガ、御承知ノ通り自治的精神ニ於
テ彼レガ機關ヲ作ツテ、大ニ働ラナサシメ、サウシテ政府ト相應ジテナスト云
フコトノ必要ヲ感ジテ參リマシタニ付テハ、ドウモ強制ノ法ガ必要デアルト
認メタ次第デアリマス

○男爵武井守正君 御答ヲ得マシテ、私ノ御尋ヲ致シマシタコトニント御
答ガ當リマセヌト思ヒマス、町村ノ今日ノ有様ハ非常ニ租稅ニ苦ンデ居ルノ
デアリマス、又町村費ノ多大ナルコトニ苦ンデ、立行カヌコトニナツテ居ル町
村モゴザイマス、唯今其個條ヲ御陳列ニナリマシタガ、紙ニ書キマスト皆結
構ナコトデアリマスケレドモ、實地田舎ニ參ツテ見マスト、農商務省カラ派遣
サレマシタ技師ガ、手ヲ以テ授ケルヤウナコトヲ致シマスノハ散見シマス、
即チ蠶絲トカ或ハ肥料ダトカ又其種トカ、専門家ガ致シマスト云フコトハ、

非常ニ效果ガ現ハレテ居リマス、併シ農會ニ於テドレ程ノ事ヲシタカト申シマスト、何モ見ルベキモノガナイ、唯机ノ上デ御覽ニナリマシタノデハナイカト思ヒマス、近クハ地主小作人ノ争ヒ、喧嘩ト云フコトガ非常ニ多ウゴザイマスケレドモ、今大臣ノ御話シニナリマシタモノニ仲裁云々ト云フコトガアリマシタガ、一向其仲裁ヲシテ無事ニ治マッタト云フ跡モ現ハレテ居リマセヌ、ソレヨリハ農村ノ今日ノ有様ハ、必要缺クベカラザル學問費用ノ負擔が出來ナイノデアリマス、故ニ國庫負擔ヲ頻ニ御願ヲスルト云フ今日ニ於キマシテ、尙ホ負擔ヲ重クセシメルト云フ法ヲ起サウト云フコトハ、餘程釣合ノ付カナコトノヤウニ思ヒマスカラ、農村ノ經濟ヲドウ御覽ナサッテ居ルカト云フコトヲ御尋致シマシタ、農村ハ潰レテモ宜シイ強制徵收ヲ行ツテモ農會ヲ立テネバナラスト云フ御考デアルカ、サウデハナイトシマスレバ農村ノ今日ノ經濟ヲ御覽ナサラヌノデアルカ、或ハ御承知ナイノデアルカト存ジマシタカラ伺ヒマシタノデ、農村ガ潰レテモ農村經濟ガ潰レテモ、農會ハ強制徵收ヲシナケレバナラスト、斯ウ仰ツシャルノデアリマスカ、尙ホ念ノ爲ニ……○國務大臣(男爵山本達雄君)御意見ヲ伺ヒマスト云フト、此強制法ニ依リマスト、何カエライ稅ガ増ス如キ前提ニ御考ニナッテ居ルカノヤウニ思ヒマスガ、政府ニ於キマシテハ増スト云フ方ニ於テ重キヲ置イテ居ルノデハナインデアリマシテ、其方ニ於キマシテハ此委員會ニ於テモ御質問ガアリマシテ御答ヲ申シテ置キマシタガ、十分ニサウ云フコトニ付テハ、濫費ヲ來サナイヤニ制限ヲシテ行クノデアッテ、容易ニ農會ハ増シテ宜イト云フコトガ起リマシテモ、其事情ヲ十分ニ調ベタ上デナケレバ容易ニ許サナイ、是ハ政府ニ於テ十分ニ監督ヲスルノデアリマス、今日ノ所ニ於キマシテハ、強制徵收ノ爲ニ稅ガ殖エルト云フヤウナコトヲ考ヘルニ非スシテ、却テ公平ニシタイ、今ノヤウニアリマスルト、却テソレヲ徵收ニ應ジナイモノガ多々起リマシテ、

テ税ヲ増スト云フコトハ、町村ヲシテ益、困難ニ陥ラセルモノデナイカト云コトニ對シマシテハ、私ハ斯ウ考ヘテ居リマセヌ、ノミナラズ却テ反対ニ考カト思ヒマス、近クハ地主小作人ノ争ヒ、喧嘩ト云フコトガ非常ニ多ウゴザイマスケレドモ、今大臣ノ御話シニナリマシタモノニ仲裁云々ト云フコトガアリマシタガ、一向其仲裁ヲシテ無事ニ治マッタト云フ跡モ現ハレテ居リマセヌ、ソレヨリハ農村ノ今日ノ有様ハ、必要缺クベカラザル學問費用ノ負擔が出來ナイノデアリマス、故ニ國庫負擔ヲ頻ニ御願ヲスルト云フ今日ニ於キマシテ、尙ホ負擔ヲ重クセシメルト云フ法ヲ起サウト云フコトハ、餘程釣合ノ付カナコトノヤウニ思ヒマスカラ、農村ノ經濟ヲドウ御覽ナサッテ居ルカト云フコトヲ御尋致シマシタ、農村ハ潰レテモ宜シイ強制徵收ヲ行ツテモ農會ヲ立テネバナラスト云フ御考デアルカ、サウデハナイトシマスレバ農村ノ今日ノ經濟ヲ御覽ナサラヌノデアルカ、或ハ御承知ナイノデアルカト存ジマシタカラ伺ヒマシタノデ、農村ガ潰レテモ農村經濟ガ潰レテモ、農會ハ強制徵收ヲシナケレバナラスト、斯ウ仰ツシャルノデアリマスカ、尙ホ念ノ爲ニ……○國務大臣(男爵山本達雄君)御意見ヲ伺ヒマスト云フト、此強制法ニ依リマスト、何カエライ稅ガ増ス如キ前提ニ御考ニナッテ居ルカノヤウニ思ヒマスガ、政府ニ於キマシテハ増スト云フ方ニ於テ重キヲ置イテ居ルノデハナインデアリマシテ、其方ニ於キマシテハ此委員會ニ於テモ御質問ガアリマシテ御答ヲ申シテ置キマシタガ、十分ニサウ云フコトニ付テハ、濫費ヲ來サナイヤニ制限ヲシテ行クノデアッテ、容易ニ農會ハ増シテ宜イト云フコトガ起リマシテモ、其事情ヲ十分ニ調ベタ上デナケレバ容易ニ許サナイ、是ハ政府ニ於

テ税ヲ増スト云フコトハ、町村ヲシテ益、困難ニ陥ラセルモノデナイカト云コトニ對シマシテハ、私ハ斯ウ考ヘテ居リマセヌ、ノミナラズ却テ反対ニ考カト思ヒマス、近クハ地主小作人ノ争ヒ、喧嘩ト云フコトガ非常ニ多ウゴザイマスケレドモ、今大臣ノ御話シニナリマシタモノニ仲裁云々ト云フコトガアリマシタガ、一向其仲裁ヲシテ無事ニ治マッタト云フ跡モ現ハレテ居リマセヌ、ソレヨリハ農村ノ今日ノ有様ハ、必要缺クベカラザル學問費用ノ負擔が出來ナイノデアリマス、故ニ國庫負擔ヲ頻ニ御願ヲスルト云フ今日ニ於キマシテ、尙ホ負擔ヲ重クセシメルト云フ法ヲ起サウト云フコトハ、餘程釣合ノ付カナコトノヤウニ思ヒマスカラ、農村ノ經濟ヲドウ御覽ナサッテ居ルカト云フコトヲ御尋致シマシタ、農村ハ潰レテモ宜シイ強制徵收ヲ行ツテモ農會ヲ立論シタ次第デアリマス○男爵武井守正君 私ハ質問ハ打切りマス○男爵目賀田種太郎君 重ネテ惑ヲ生ジマシタカラ伺ヒマス、農業ノ仲裁ト申セバ第三條ニ仲裁ト云フコトガ掲ゲテアル、掲ゲテアルダケデハ仲裁ト云フコトハ出來ナイト存ジマス、何カ之ニハ必要ナル附帶ノ條項ガナケレバナラヌヤウニ思ヒマスカラ、是等ハ如何ナモノデゴザイマスカ、今一ツハ大臣ハ商業會議所ガ業務上以外ノコトニ瓦ツテ不正ガアルカラ、強制徵收ヲシタト云フコトヲ述ベラレマシタガ、然ラバ何カ刑ガアルト其罰ノヤウニ聽取リマシタガ、本法ノ施行ニ於テノ不正ガ起ツタラ強制徵收ト云フモノハ御ヤメニナルノデアリマセウカ、チヨット分リマセヌガ……○國務大臣(男爵山本達雄君) 私ハ此法ヲ以テ農民ヲ救濟スルトハ申シマセヌ、唯此農會ヲ設ケテ農業ノ進歩發達ヲ圖リ、而シテ市町村ノ福利增進ヲ圖ニ稅ガ殖エルト云フヤウナコトヲ考ヘルニ非スシテ、却テ公平ニシタイ、今ノ通リニ追々進行シテ吳レバ市町村ハ段々發達シ、又農業ニ付テノ進歩發達モ出來テ、サウシテ大ニ幸福ヲ得ル端緒デアルト云フモノト看做シテ居ル者デアリマス、決シテ之ガ直チニ救濟ト云フコトニ無論相成ルモノデハアリマレデ一方デハ會員デアリナガラ應ジナイ、而シテ之ヲ維持スルノニハ外ノモノガソレヲ負擔シナケレバナラヌ如キ狀態ニ陥ツテ居リマスカラ、是ハ成ダケ公平ニ行クト云フコトニ於テナシタイト思ヒマシテ、御氣遣ヒノ點ニ付テハ十分ニ政府ニ於テハ監督ヲスル積リデゴザイマス、ソレカラ必要ナル學校費ニ私聽取タノデアリマス、故ニ其時ノ模様ニ於テ商業會議所ガ無益ダ、不

必要ナル機關ト云フコトニアラズシテ、其時ニ於テ初メ申ス如キ事情ニ於テ記憶シテ居リマスガ、ソレヲ前以テ申述べタノデ、商業會議所ナルモノが決シテ不必要ナモノデナイト云フコトヲ申述べタノデアリマス、ソレデ農會ニ於キマシテモ、政府ト致シテハ餘程是ハ市町村ノ發達ヲ圖リ、サウシテ農業ノ福利増進ヲ圖ル上ニ必要デアルト思フノデ制定シテ居ル次第デアリマス、若シ此法ヲ施行スル上ニ於テ左ニアラズ、事實ニ於テハ却テ是ハ不必要ナリト云フコトガ起リマシタナラバ、是ハ申ス迄モナク其時ニ於テ又徵收ヲ取上ゲマシテ、或ハ法ヲ廢スルナリ、其時ニ於テ起ルコトデアリマス、ケレドモ今日、今日何處マデモ日本ノ農業ノ狀態カラ照シテ斯ノ如キ施設ハ必要デアルト云フ爲ニ制定シタ次第デアリマス

○男爵目賀田種太郎君 唯今伺ヒマシタ所ニ依リマスト云フト益惑フノデゴザイマスガ、仲裁ノコトハヤナイト云フコトノ御説明デゴザイマスガ、第三條第四條ニ農業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁トアリマスカラ御尋シタノデスガ、ソレハナサラヌノデアリマスカ、ソレカラ又私ノ伺ヒマシタノハ強制徵收ノコトデ、外ノコトハ一向ナイ、強制徵收ヲ適用サレルト云フコトハ立法トシテ穩當デナイヤウニ思フ、斯ウ云フコトヲ伺ッタ、然ニ大臣ハ強制徵收ヲシテ公平ヲ得レバ町村ノ福利ヲ増スト云フ御説明デアリマスガ、私ハサウハ思ヒマセヌ、ソレハ意見デアリマスガ、此仲裁ノコトハ如何デアリマスカ

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 私ハ救濟ト承リマシタカラ、今申シタヤウニ言フタノデアル、是ハ救濟ト仲裁ト間違テ甚ダ相濟ミマセヌ、取消シマス
○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
○子爵西大路吉光君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○大山綱昌君 賛成
○議長(公爵德川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第十三、社寺現境内地無償下付ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會
社寺現境内地無償下付ニ關スル法律案

右本院提出案及送付候也

大正十一年三月十八日

衆議院議長 奥 繁三郎

第一條 社寺現境内地ニシテ現ニ國有ニ屬スル現境内地ハ之ヲ其ノ社寺ニ下
付スヘシ

第二條 本法ニ依ル下付ノ申請ハ大正十四年七月三十一日迄ニ之ヲ主務大

臣ニ差出スヘシ
第三條 此ノ申請ニ對スル處分ニ付不服アル者ハ其ノ指令ヲ受ケタル日ヨリ三箇月内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第四條 第一條ニ依リ下付ヲ受ケタル者ハ其ノ境内地及立木竹ノ所有權ヲ

取得ス

前項ニ依リ所有權ヲ取得シタル者ハ其ノ土地及立木竹ニ付第三者ノ現ニ有スル權利ヲ害スルコトヲ得ス

第五條 本法ニ依リ下付ヲ受ケタル境内地及立木竹ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ナレハ之ヲ讓渡シ又ハ地上權、抵當權若ハ質權ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第六條 本法施行前行政處分又ハ裁判所ノ判決ヲ受ケタル者ト雖本法ニ依リ下付ノ申請ヲ爲スコトヲ妨ケス

附 則

本法ハ大正十一年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

○山脇玄君 チヨット農商務大臣ニ伺ヒタイ

○議長(公爵德川家達君) 山脇玄君

○山脇玄君 本案ニ付テ農商務大臣ニ質問ガアリマス、農商務大臣ニ伺ヒタイ

○議長(公爵武井守正君) 私ハ山脇君ニ發言ヲ許シタ考ヘテ居リマス

○山脇玄君 私ハ大體ニ付テ此日程第十四ニ付テ……

○議長(公爵德川家達君) 第十四ハマダ早ウゴザイマス

〔男爵武井守正君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 唯今山脇君ニ發言ヲ許シテ居リマス

○山脇玄君 第十三ノ議題ニナツテ居ル事柄ニ付テ農商務大臣ニ伺ッテ見タ

○山脇玄君 第十三ノ議題ニナツテ居ル事柄ニ付テ農商務大臣ニ伺ッテ見タ
イ、此今御説明ニナツタ明治初年ニ上地サレタ社寺ノ土地ト云フモノニ付キマ
シテハ、申上ゲルマデモアリマセヌ、數年來ノ懸案トナツテ居リ、最近衆議院
デハ再三法案トナツテ通過シテ本院へ廻ツテ來マシタ、最後ニ本院ノ特別委員
ハ當時政府ニ交渉致シマシテ、政府デモ大ニ其意ヲ諒トセラレテ、政府部
内ニ於テ社寺ノ現境内地ト境外地トヲ區別シテ、ソレゾレ此適當ノ處分ヲ爲
サル御考デアツテ、既ニ其一部ハ實行サレ、他ノ部分ハ未ダ實行サレテ居ラ
ナイヤウニ思ヒマス、隨分長ク其儘ニナツテ居ルヤウデアリマス、申スマデモ
アリマセヌ、今日ハ人心ノ動搖ヲ鎮壓シ善導スル任ニ當ルモノハ宗教……宗
教團體其他社會事業ニ關シテナカナカ力ヲ盡スコトガ多々アルノデアリマ
ス、一方ニ於テハ斯ウ云フ大イナル任務ニ當リナガラ、他方ニ於テハ少シモ
便宜ヲ得テ居ラナイト云フコトハ、誠ニ不道理デアラウト考ヘルノデアリマ
ス、サウ云フヤウナ點カラ、早ク政府ハ其處分ヲ爲スベキデアラウ、承ル所

ニ依リマスルト既ニ政府部内デハ其處分ガ略々極ツテ居ルト云フコトデアリマ
スガ、其點デアリマス、其點ガ極ツテ居ルナラバナゼ今日マデ長クホッタラカ
シテ御置ニナルノデゴザイマスカ、其事ガ私共ニハ甚ダ了解ニ苦ムノデアリ
マスガ、ドウカ其事情ヲ御述ベニナツテ相成ベクハ誠ニ餘日モアリマセヌガ、
速ニ通過ラシタ方ガ宜シイダラウト思ヒマスカラ、ドウカ農商務大臣ハ其内
部ノ模様ヲ此議場デ御述べ下サルナラバ、誠ニ本案ヲ審査スル上ニ於テ大ニ
便利ヲ得ルダラウト思ヒマス

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 此第十三ノ社寺現境内地無償下付ニ關スル法律案ハ、此社寺ノ拜借地ノコトニ付マシテハ、一體ニ於キマシテ明治三十二年マデニ於テ苦情ノアル者ハソレヅレ其理由ヲ申出テ來ルコトニ相成リマシテ、一應之ニ付マシテ政府ハ處分ヲ遂ゲマシテ、其後ニ於キマシテノ苦情ガ起キマスト云フト、是ハ行政處分、行政裁判ノ手ニ依テソレヅレ處分スルコトニ相成リマシタ、各府縣ニ於テモ其手續ニ依リマシテ行政裁判ノ手續ヲ經テ居ルモノハ是ハ多々ゴザイマス、今日ハ餘程少ナクナリマシタガ、マダ残ツテ居ルヤウニ承知シテ居リマス、然ニ其後ニ於キマシテ尙ホ山林ノ元ノ上地ガ其儘ニナツテ居ルカラシテ、是ハ拂下ゲテ吳レト云フ、是ハ請願ガ殆ド年々ノ如ク起ツテ參ルノデアリマス、ソコデドウモソレハ拂下ゲルト云フコトニ付テハ、一通り明治三十二年ニ於キマシテ打切タノデアルガ、併シ政府ノ所有トナツテ居ル其境内ノ山林ニハソレヅレ研伐ニ於ケル規定ヲ設ケテ、其中ノ利益ノ幾分ヲ寺院ニ渡スト云フコトニ相成リマシテ、大正四年ト記憶シテ居リマスルガ其途ガ行ハレテ居ル、ソレデ政府ニ於テハソレヅレ處置ヲ付ケテ仕拂下ゲテ貰ヒタイ、ドウセ無貨ノモノデアル故ニ拂下ゲテ貰ヒタイト云フコトガ、衆議院ニ於テ起ツテ、此度モ亦起ツテ參リマシタ、是ハ餘程一方ニ於キマシテハ、重大ナル事柄デアリマスカラシテ、政府ニ於キマシテハ直チニ之ニ同意ヲ表スルコトガ出來ナインデアリマス、併シ國有所有財產ニ付マシテノ調査委員會ナルモノガ此頃出來マシテ、而シテ其ノ國有財產ノ不用地ハ其委員ニ於テソレゾレ調査ラスルコトニ相成テ居ルノデアリマス、政府ニ於キマシテハ、此事柄ハ國有財產調査會ニ付託シテ、而シテ一つ調べヲシテ見タイ

ト云フコトニ實際ハ相成テ居ル次第アリマス、其以上ハマダ政府ニ於テハ、何等ドウスルト云フコトニ付テ進ンデ居リマセヌ、此段……

○男爵武井守正君 唯今ノ農商務大臣カラノ御説明デ稍分リマシタガ、本案ニ政府ハ全然同意サレテ居ナイノデアリマスカ

○國務大臣(男爵山本達雄君) 左様デゴザイマス

○伯爵柳澤保恵君 私ハ簡單ニ伺ヒタイノデアリマスガ、本案審査ノ必要上、私ハ二ツノ材料ヲ請求イタシタイ、第一ハ社寺境内地ニシテ國有ニ屬スル土地ノ面積及ビ見積價額ノ概算、之ヲ府縣別或ハ町村別ニシタモノヲ頂キタイ、第二ハ社寺境内地ノ立木地ノ現況ニ付テ大體ノ説明ヲ承リタイ、是ハ此場デナクテモ至急ニ材料ヲ戴ケバ結構デゴザイマス……唯今ノ質問ニ對シテノ御返事ヲ伺ヒタイノデアリマス

〔山脇玄君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 山脇玄君ハ……

○山脇玄君 モウ一應……

○議長(公爵德川家達君) 今少シ御待チラ願ヒマス、柳澤伯爵ノ質疑ニ對シテ、政府ガ答辯ヲ今將ニサレムトシテ居ル時デアリマス、之ガ濟ミマンテカラ願ヒマセウカ

○國務大臣(男爵山本達雄君) 今ノ御要求ハ今日ハ大藏省ノ所管ニナツテ居リマスガ、併シ早速交渉イタシマシテ、御手許ニ差上グルコトニ致シマス

○山脇玄君 唯今ノ御説明ニ依リマスト、境外、境內デハナイ、境外ノ土地ニ付テハモウ少シ保管林ノ規則ヲ改正シテ先ニ其收益ヲ賦與シテ居ルト云フコトデ分リマンタガ、現在境内地ニ付テハ國有財產ノ取調ヲシテ居ル、其取調べガ濟マナイ中ハ何トモ言ヘナイト云フヤウニ承ッタノデアリマス、我ノ考テハ社寺ノ境內ト云フヤウナモノハ何モ收入ト云フモノガナイ、之ヲ國有財產トシテ保存シテ置ク必要ハ毛頭ナイモノデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、サウシマスト、若シ國有財產ノ調查委員會ト申シマスモノガ、是ハ國有財產トシテ保存シテ行ク必要ハナイモノデアルト云フコトニナレバ、政府當局デモ無論無償デ社寺ニ下戻スト云フ御考デアルカ、其邊ヲモウ一つ伺ヒタイ

○國務大臣(男爵山本達雄君) 成程政府ノ經濟上カラ申シマスト云フト、今日唯ソレゾレ社寺ニ貸シテアルノデアリマス故ニ、收支ニ於テハ關係ガナイ

ノデアリマス、ナイノデアリマスガ、自身ノモノヲ人ニ貸シテアルモノト、又之ヲ與ヘテ仕舞フトハ多大ノ關係ガ達フノデアリマス、今日社寺ニ國有ノ土地ヲ貸シテアリマスニ於キマシテモ、今日ノモノデアリマスト、社寺ハ無論私有ニ爲シ得ナイノデアリマシテ、從ヒマシテ、此社寺ヲ保護スル上ニ於テ多大ノ關係ヲ持ツテ居ルノデアリマス、之ヲ拂下ゲテ仕舞ヒマスト云フト、如何ナル法律ヲ設ケマシテモ、結局其寺ノモノデアリマスカラシテ、寺ノ私有ニナルコトニナルノデアリマス、斯ノ如キコトハ國家トシテハ只經濟上ニ餘程考ヘナケレバナラスコトト思フノデアルカラシテ、是ハ政府ニ於キマシテハ十分ナル調査ヲスル必要ガアルト考ヘテ居ル次第アリマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ハ、國有財產整理資金特別會計法案ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第十四、國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案

右本院提出案及送付候也

大正十一年三月十八日

衆議院議長 奥 繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

第一條 明治三十二年法律第九十九號國有土地森林原野下戻法第一條ノ期限内ニ下戻ノ申請ヲ爲ササル者ハ大正十二年三月三十一日迄ニ主務大臣ニ下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ得但シ社寺ノ現境内地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條 前條ノ申請ニ對シ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三條 明治三十二年法律第九十九號國有土地森林原野下戻法ニ依リ申請シタル者又ハ此ノ法律施行以前ニ下戻ニ關スル申請書又ハ願書ヲ差出シ此ノ法律ニ依リタルモノト看做サレタルモノニシテ主務大臣ノ處分ニ對シ期限内ニ出訴セサル者ハ大正十二年三月三十一日迄ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ社寺ノ現境内地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

○議長(公爵德川家達君) 山脇君ハ第十四ニモ御質疑ガアツタヤウニ、議長ハ

伺ヒマシタガ……

○山脇玄君 十三ノ質問デ分リマシタカラ是ハモウ……

○議長(公爵徳川家達君) 本案モ日程第十三ト同ジク、國有財產整理資金特別會計法案ノ特別委員ニ付託イタシマス

男爵藤村義朗君 高田早苗君 鎌田勝太郎君
○議長(公爵徳川家達君) 明後二十二日午前十時ヨリ開會イタシマス、議事
日程ハ決定次第本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會

午後零時三十二分散會

○議長(公爵徳川家達君) 日程十五、治安警察法中改正法律案、衆議院提出、
第一讀會

治安警察法中改正法律案
右本院提出案及送付候也

大正十一年三月十八日

衆議院議長 奥繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

治安警察法中左ノ通改正ス

第五條第二項中「女子及」ヲ削ル

○伯爵柳澤保惠君 是ハ毎年出マスル衆議院案デアリマスルガ、昨今ノ場合ニ於キマシテハ政府ノ御考ハ如何デアリマスカ、御賛成ニナルノデスカ、反對デアリマスカ、詳細ニ御説明ヲ願ヒマス

〔政府委員松田源治君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松田源治君) 本案ハ治安警察法中五條ニ改正ヲ加ヘマシテ「女子及」ヲ削ル簡単ナル案デアリマス、政府ニ於キマシテハ女子教育ノ進歩ト女子ノ地位ノ向上、及ビ日本ノ現今ノ國情ニ鑑ミマシテ、此程度ノコトナラバ敢テ差支ナカラウト思ヒマシテ同意イタシマス、是ガ又結社ニナリマスト云フト、婦人ガ繼續的ニ政治運動ヲスルコトニナリマスカラ同意シ兼ネマスクレドモ、政談集會ニ會同シ、其發起人ニナルト云フ程度ノコトナラバ、敢テ差支ナカラウト思ッテ同意イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀イタセマス

〔長書記官朗讀〕

治安警察法中改正法律案特別委員

侯爵佐佐木行忠君 伯爵松平 賴壽君 服部一三君
子爵板倉勝憲君 男爵山川健次郎君 男爵今園國貞君

